

操作ボタン位置参照図(通常時刻表示時のボタン操作)



- 時計(通常時刻表示)
- カレンダー(月・日・曜日表示)
- アラーム機能
- 時報機能
- 第2時刻表示
- ストップウォッチ
- ELライト

※ボタン操作時の電子音は消せません。

各モードへの切り替えについて

通常時刻表示の状態から下図の順にBボタンを押すごとにモードが切り替わります。

モードメニュー画面

1 通常時刻表示

時・分・秒表示



2 カレンダー表示

月・日・曜日表示
(西暦表示はありません。)



3 アラームと時報機能

アラーム時刻設定
アラーム入・切(ON/OFF)設定



4 第2時刻表示機能

第2時刻表示(時・分・秒)



5 ストップウォッチ機能

最大計測時間: 29分59秒99



1 通常時刻表示

時刻設定の変更

- ① 通常時刻表示の状態[C]ボタンを約2秒間押しすと[秒]が点滅を開始します。
- ② [秒]を[00]に合わせる場合は、[B]ボタンを押してください。この時、[秒]が30~59秒を表示している時は[分]表示は1分繰り上がります。
- ③ [秒]表示点滅中に、[C]ボタンを押すと[時]が点滅します。[B]ボタンを押すごとに[時]が変更できます。
*変更時に[B]ボタンを長押しすると早送りできます。
- ④ [時]表示点滅中に、[C]ボタンを押すと[分]が点滅します。[B]ボタンを押すごとに[分]が変更できます。
- ⑤ [分]表示点滅中に、[C]ボタンを押すと[12/24時間表示設定]が点滅します。[B]ボタンを押して[12H]か[24H]を選択してください。
- ⑥ ⑤の設定をしたら、最後に[C]ボタンを押すと設定を終了して、通常時刻表示にもどります。

※設定途中で終了する場合は、以降の設定変更をせずに⑥までの操作を行ってください。または、約60秒間ボタン操作を行わない場合は、自動的に通常時刻表示にもどります。時刻設定変更された範囲は、設定が確定されます。

2 カレンダー表示

通常時刻表示の状態から[B]ボタンを1回押しすとカレンダーを表示します。カレンダー表示から通常時刻表示にもどすには、[B]ボタンを4回押ししてください。自動ではもどりません。

注意: 2月は29日まで表示されます。うるう年以外の2月は、下記設定方法でカレンダーを修正してください。

カレンダー設定の変更

- ① カレンダー表示の状態[C]ボタンを約2秒間押しすと[月]が点滅します。[B]ボタンを押して[月]を変更してください。
*変更時に[B]ボタンを長押しすると早送りできます。
- ② 次に、[C]ボタンを1回押しすと[日]が点滅します。[B]ボタンを押して[日]を変更してください。
- ③ 次に、[C]ボタンを1回押しすと[曜日]が点滅します。[B]ボタンを押して[曜日]を変更してください。
- ④ 最後に、[C]ボタンを1回押しすと設定を終了し、カレンダー表示にもどります。

※設定途中で、約60秒間ボタン操作を行わない場合は、自動的に設定を終了します。設定変更された範囲は、設定が確定されます。

3 アラームと時報機能

※アラーム音は約20秒間鳴ります。
※時報は電子音が2回鳴ります。

アラーム設定が[入]の場合、毎日設定時刻にアラームが鳴ります。アラーム音は、[A][B][C][D]いずれのボタンを押しても止まります。アラーム設定時刻は、通常時刻表示と連動しています。第2時刻表示とは、連動していませんので、第2時刻がアラーム設定時刻になってもアラームは鳴りません。時報設定が[入]の場合、通常時刻表示が正時になる度にチャイム音が鳴ります。第2時刻表示の状態でも、通常時刻が正時になる時にはチャイム音が鳴ります。

※時報の時刻設定は出来ません。

アラーム時刻設定 アラーム入・切(ON/OFF) 時報入・切(ON/OFF)

「アラーム時刻設定」と「アラーム入・切設定」と「時報入・切設定」は連動して行います。下記の手順で設定してください。

- ① 通常時刻表示から、[B]ボタンを2回押しすとアラーム設定表示になります。表示されている時刻が現在設定されているアラーム時刻です。[C]ボタンを約2秒間押しすと[時]が点滅します。[B]ボタンを押して[時]を変更してください。
アラーム設定表示
*変更時に[B]ボタンを長押しすると早送りできます。
- ② 次に、[C]ボタンを1回押しすと[分]の十の位が点滅します。[B]ボタンを押して[分]の十の位を変更してください。
- ③ 次に、[C]ボタンを1回押しすと[分]の一の位が点滅します。[B]ボタンを押して[分]の一の位を変更してください。
- ④ 次に、[C]ボタンを1回押しすとアラームマーク ●||| と時報マーク 📣 が同時点滅します。[B]ボタンを1回押しすごとに下記の順でマーク表示が切り替わります。選択したいマーク表示の状態[C]ボタンを押すと確定し、アラーム設定表示にもどります。最後に[B]ボタンを3回押しすと通常時刻表示にもどります。



アラーム/時報 ONの状態 アラーム/時報 OFFの状態 アラームON 時報OFFの状態 アラームOFF 時報ONの状態

※設定途中で、約60秒間ボタン操作を行わない場合は、自動的に設定を終了します。設定変更された範囲は、設定が確定されます。

4 第2時刻表示機能

通常時刻表示の状態から[B]ボタンを3回押しすと第2時刻を表示します。第2時刻表示から通常時刻表示にもどすには、[B]ボタンを2回押ししてください。自動ではもどりません。

時刻設定の変更

第2時刻表示

- ① 第2時刻表示の状態[C]ボタンを約2秒間押しすと[時]が点滅を開始します。[B]ボタンを押すごとに[時]が変更できます。
*変更時に[B]ボタンを長押しすると早送りできます。
- ② [時]表示点滅中に、[C]ボタンを押すと[分]が点滅します。[B]ボタンを押すごとに[分]が変更できます。
- ③ [分]表示点滅中に、[C]ボタンを押すと[12/24時間表示設定]が点滅します。[B]ボタンを押して[12H]か[24H]を選択してください。
- ④ ③の設定をしたら、最後に[C]ボタンを押すと設定を終了して、第2時刻表示にもどります。



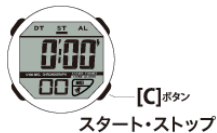
※設定途中で、約60秒間ボタン操作を行わない場合は、自動的に設定を終了します。設定変更された範囲は、設定が確定されます。

5 ストップウォッチ機能

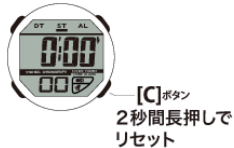
通常時刻表示の状態から[B]ボタンを4回押すとストップウォッチ機能を表示します。ストップウォッチ表示から通常時刻表示にもどすには、[B]ボタンを1回押してください。自動ではもどりません。

ストップウォッチの操作方法

- [C]ボタンを押してスタートします。
- 計測を停止する時は、再度[C]ボタンを押します。
- 計測を継続する場合は、再度[C]ボタンを押します。



- リセットは、計測停止の状態から再度[C]ボタンを長押ししてください。
- 一旦、計測を開始しますがボタンを2秒程長押しすると表示が[0':00'00]にもどります。



※最大計測時間(29分59秒99)を超過すると、自動的に(0':00'00)にもどり、再度計測を継続します。
[C]ボタンを押して停止させるまで計測を継続します。

※計測中に通常時刻を確認する場合は、[B]ボタンを1回押すと計測を継続した状態で通常時刻表示にもどります。ストップウォッチ表示に戻す場合は、[B]ボタンを4回押してください。

製品仕様

- 平均月差±90秒以内 (適正使用温度範囲5℃~35℃の場合)
- 10気圧防水 ■使用温度範囲:5℃~35℃
- 製造国:中国 ■使用電池:リチウム電池 CR2032 x 1個
- 電池寿命:新品電池を入れてから約10年
(1日にELライト10回/アラーム1回使用目安)

※本製品は工場にて新品電池を組み込んでおりますが、お買上げいただくまでの期間も作動し続けているため、お買上げ後、規格寿命に満たない内に電池容量が切れることがあります。

※ELライトは電気を多量に消耗します。目安よりも多く使用すると頻度に比例して電池は早く切れます。

防水機能について

■本製品は10気圧防水です。

※注意:激しい水圧が掛かると水が入り故障の原因になる場合があります。

10気圧防水	一時的にかかる水滴 (洗面・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
	○	○	×	×



ボタン操作のご注意 水中、または水に濡れた状態でのボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となることがあります。手やボタン部分が濡れていないことを確認してからボタン操作を行ってください。